

ガザ地区における全ての戦闘行為を直ちに停止し和平を求める決議

10月7日から始まったイスラエル・ガザ紛争では、約1か月で死者数が1万人を超え、今や2万人に迫ろうという深刻な事態に陥っている。ガザ地区は空爆や戦車による砲撃で市街地や重要施設が破壊され、電力、水・食料、医薬品、燃料などはいまだに枯渇しており、深刻な人道的危機に直面している。とりわけ子どもたちの犠牲が増え続けており、もはや一刻の猶予もない状況である。

こうした事態を受け、国連総会においてはガザ地区の情勢に関して即時かつ持続的な人道的停戦を求める決議を採択している。

よって、郡上市議会は、国際社会が連携し、子どもたちをはじめとする、これ以上の犠牲者を生まないために国際法を遵守し、人質の即時解放及び即時停戦と一日も早い和平が実現できるよう強く求める。

以上、決議する。

令和5年12月22日

郡上市議会